

令和4年

鳥取県人口移動調査結果
【令和4年1月～令和4年12月】

令和5年3月30日公表

鳥取県令和新时代創造本部統計課

目 次

用語の説明	1
利用上の注意	2
調査結果の概要	
I 鳥取県の人口動態	
1 概況	3
2 自然動態	
(1) 自然動態の推移	3
(2) 月別自然動態	4
3 社会動態	
(1) 社会動態の推移	4
(2) 月别社会動態	5
(3) 都道府県別（外国を含む）、男女别社会動態	5
(4) ブロック別の県外転入・転出	7
(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数	7
(6) 年齢5歳階級別、男女别社会動態	8
II 市町村别人口動態	
1 人口増減	9
2 自然動態	
(1) 市町村别自然動態	10
(2) 月别自然動態	11
(3) 男女别自然動態	11
3 社会動態	
(1) 市町村别社会動態	12
(2) 県内移動	13
(3) 県外転入・県外転出	14
(4) 4市における年齢5歳階級別、男女别県外転入転出	15
<参考>外国人の人口動態	19
参考資料	
1 鳥取県の人口動態の推移（S30～R4）	20
2 年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H14～R4）	21
3 年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H14～R4）	22
4 県外転出入者数の推移（令和4年移動者総数上位6都道府県）	23

用語の説明

1 動態

- (1) 人口動態…自然動態と社会動態を合わせた人口の動きをいう。
- (2) 自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。
- (3) 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

2 移動

- (1) 移動者総数…県内移動者数(県内市町村間の転出入)と県外移動者数(県内外の転出入)を合計した数をいう。
- (2) 実移動者総数…県内市町村間の転入者数と県外移動者数を合計した数をいう。
- (3) 県内転入者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転入した者の数をいう。
- (4) 県内転出者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転出した者の数をいう。この調査の県内移動については、転入だけを調査している。このため転出については、従前の住所地(市町村)により、算出した数である。
- (5) 県外転入者数…県外(外国を含む)の市町村から県内の市町村へ転入した者の数をいう。
- (6) 県外転出者数…県内の市町村から県外(外国を含む)の市町村へ転出した者の数をいう。
- (7) 転入・転出超過数…転入者数から転出者数を差し引いた数で、プラスの場合を転入超過、マイナスの場合を転出超過という。

3 出生率及び死亡率

- (1) 出生率…人口に対する出生数の千分率(パーミル【‰】)をいう。
- (2) 死亡率…人口に対する死亡数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

4 移動者の年齢

令和4年10月1日現在の満年齢による。

5 自然増減数

出生数から死亡数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは自然増加といい、マイナスは自然減少という。

6 自然増減率

人口に対する自然増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

7 社会増減数

転入者数から転出者数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは社会増加といい、マイナスは社会減少という。

8 社会増減率

人口に対する社会増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

9 ブロック別区分

北海道…北海道

東北…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部…新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国…島根県、岡山県、広島県、山口県

四国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

10 地域別区分

東 部…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

中 部…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

西 部…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

11 市郡別

市 部…鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

郡 部…岩美郡、八頭郡、東伯郡、西伯郡、日野郡

利 用 上 の 注 意

- 1 鳥取県人口移動調査は、「住民基本台帳法」の規定により届出された者を対象に、出生数及び死亡数、転入者数及び転出者数を、それぞれ住民票の異動日を基準として各月ごとに調査したものである。
- 2 人口及び世帯の移動数は、令和4年1月から令和4年12月までの年間数値であり、市町村表記は令和4年12月現在のものにて記載している。

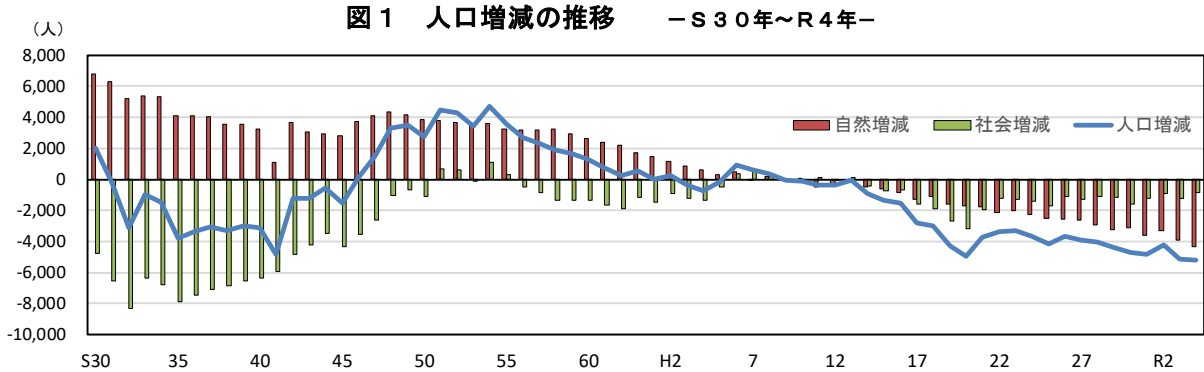
調査結果の概要

I 鳥取県の人口動態

1 概況

1年間の人口動態は、自然増減、社会増減ともに減少し、減少幅は前年に比べ79人拡大した。

令和4年（令和4年1月～令和4年12月）の1年間の人口動態をみると、自然増減は4,335人の減少、社会増減は853人の減少、合計5,188人の減少となり、減少幅は前年に比べ79人拡大した。（図1、統計表第1表）



注)各年の数値は1月～12月の集計による。

2 自然動態

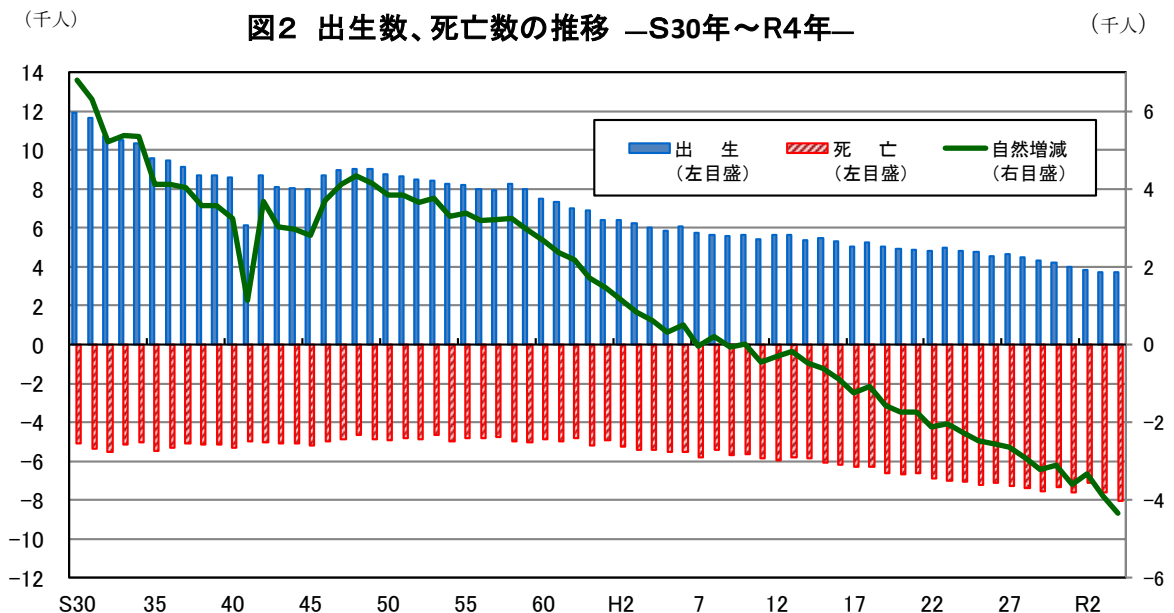
(1) 自然動態の推移

死亡数は、昭和30年以降初めて8,000人を超えた。
自然増減は、4,335人減少し、24年連続の減少となった。

出生数は昭和30年（11,901人）以降概ね減少傾向となり、昭和35年からは9,000人台、昭和62年からは6,000人台、平成5年からは5,000人台、平成20年からは4,000人台、令和2年からは3,000人台となり、令和4年は3,729人で前年に比べ19人増加した。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後を推移していたが、それ以降は増加傾向となっている。平成15年からは6,000人台、平成23年からは7,000人台となり、令和4年は8,064人で前年に比べ453人増加し、昭和30年以降初めて8,000人を超えた。

自然増減は4,335人の減少となり、減少幅は前年に比べ434人拡大し、24年連続の減少となった。（図2、統計表第1表）



注)各年の数値は1月～12月の集計による。

(2) 月別自然動態

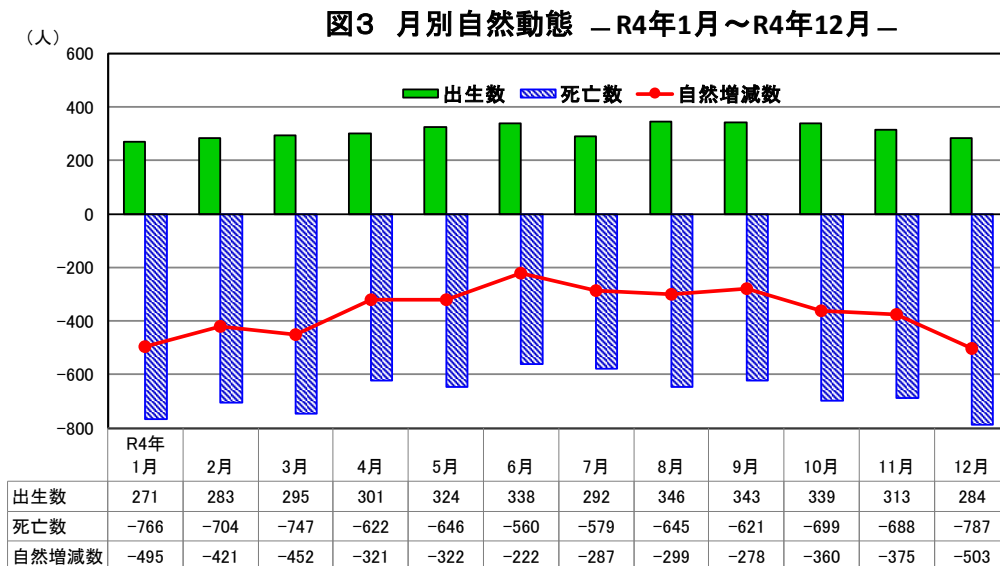
自然増減はすべての月で減少となり、12月の減少数が最も多い

月別にみると、出生数は8月の346人（出生総数に占める割合9.3%）が最も多く、次いで9月の343人（同9.2%）、10月の339人（同9.1%）であった。

死亡数は12月の787人（死亡総数に占める割合9.8%）が最も多く、次いで1月の766人（同9.5%）、3月の747人（同9.3%）であった。

自然増減数はすべての月で減少となり、減少数は12月の503人が最も多かった。

（図3、統計表第2表）



3 社会動態

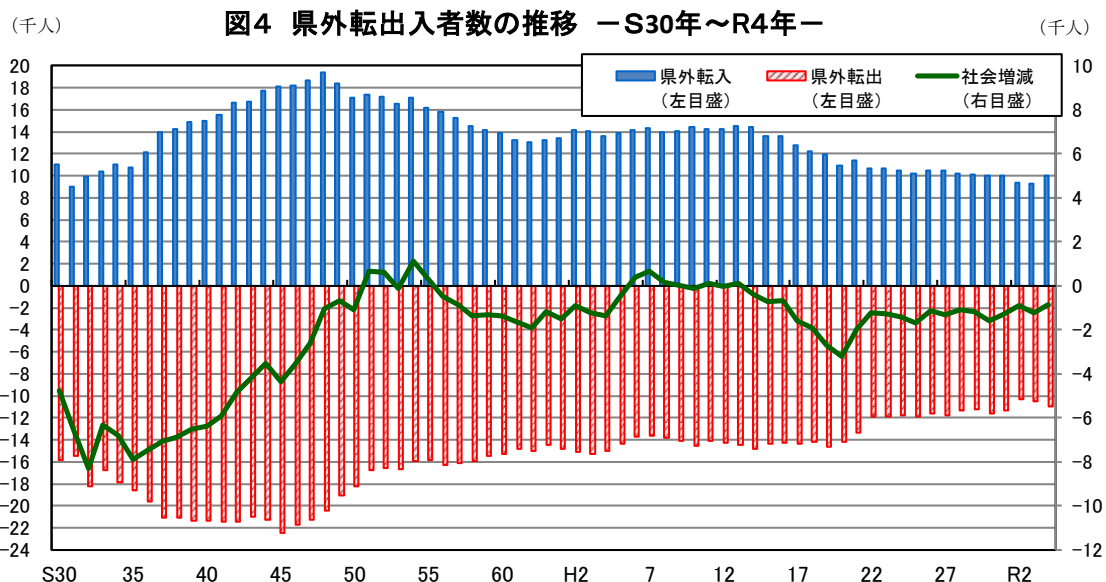
(1) 社会動態の推移

社会増減は、853人減少し、21年連続の減少となった。

令和4年（令和4年1月～令和4年12月）の県外転入者は10,058人、県外転出者は10,911人で社会増減は853人減少した。県内の市町村間を移動した者（県内移動者）は5,539人で実移動者総数は26,508人であった。

前年と比べると、県外転入者が795人増加、県外転出者が440人増加し、社会増減の減少数が355人縮小した。また、県内移動者が130人減少し、実移動者総数が1,105人増加した。

社会動態の推移をみると、県外転入者は昭和48年の19,395人、県外転出者は昭和45年の22,438人をピークに転入・転出とも減少傾向となり、社会増減数は平成14年以降21年連続で減少した。（図4、統計表第1表、統計表第4表）



注) 各年の数値は1月～12月の集計による。

(2) 月別社会動態

3月及び4月の2か月間で、年間県外移動者総数の39.5%を占める

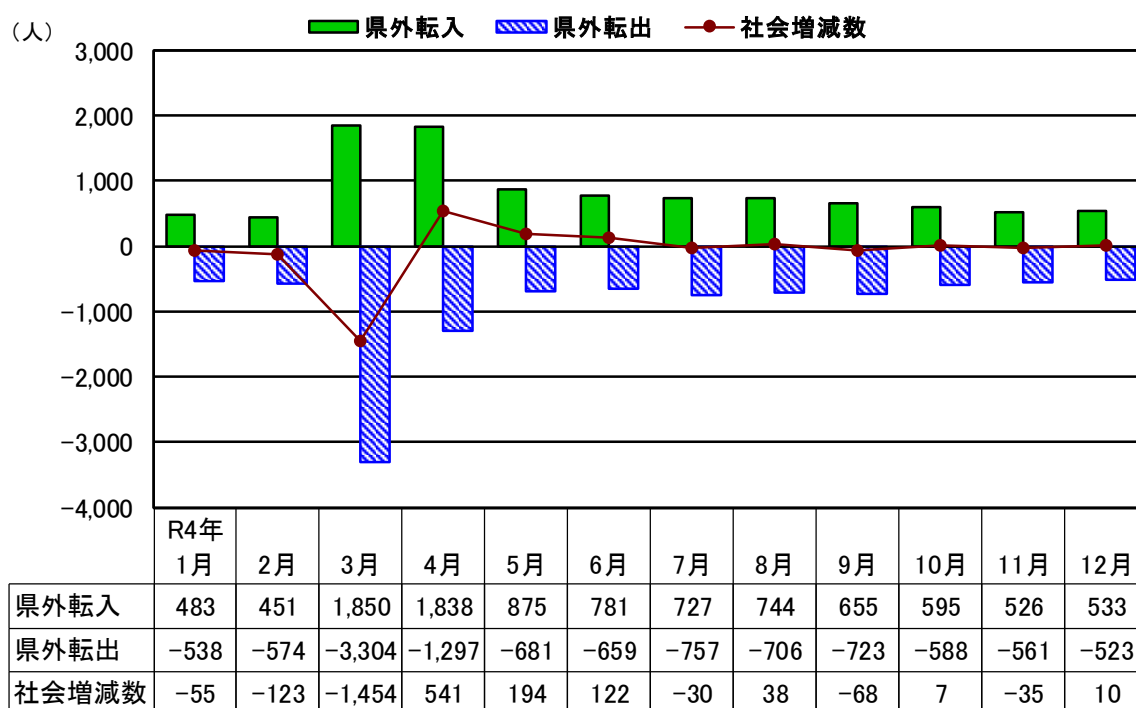
月別にみると、県外転入者は3月の1,850人（県外転入者総数に占める割合18.4%）が最も多く、次いで4月の1,838人（同18.3%）、5月の875人（同8.7%）であった。

県外転出者は3月の3,304人（県外転出者総数に占める割合30.3%）が最も多く、次いで4月の1,297人（同11.9%）、7月の757人（同6.9%）であった。

この結果、4月が541人増加し、3月が1,454人減少し、この2か月間で年間県外移動者総数の39.5%を占めている。

（図5、統計表第3表）

図5 月別県外転出入者数 — R4年1月～R4年12月 —



(3) 都道府県別（外国を含む）、男女別社会動態

県外転入者数は外国の1,371人、県外転出者数は大阪府の1,183人が最も多い

都道府県別（外国を含む）にみると、県外転入者は外国の1,371人（男性642人、女性729人）が最も多く、次いで島根県の1,191人（男性618人、女性573人）、大阪府の976人（男性525人、女性451人）であった。

県外転出者は、大阪府の1,183人（男性599人、女性584人）が最も多く、次いで島根県の1,127人（男性631人、女性496人）、兵庫県の975人（男性493人、女性482人）であった。

また、男女別にみると、男性の県外転入者は外国の642人が最も多く、次いで島根県の618人、大阪府の525人であり、県外転出者は、島根県の631人が最も多く、次いで大阪府の599人、東京都の516人であった。

女性の県外転入者は外国の729人が最も多く、次いで島根県の573人、大阪府の451人であり、県外転出者は、大阪府の584人が最も多く、次いで島根県の496人、兵庫県の482人であった。

（図6-1、図6-2、図6-3、統計表第9表）

図6-1 従前の住所地及び転出地の都道府県別(外国を含む)転入・転出者数上位15都府県(総数)

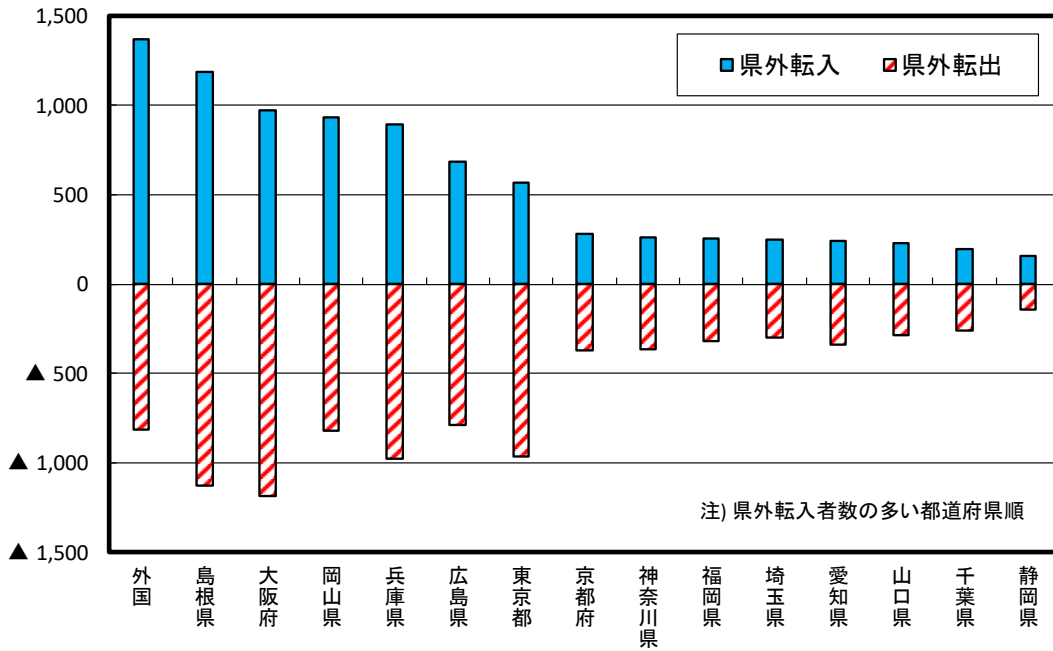


図6-2 従前の住所地及び転出地の都道府県別(外国を含む)転入・転出者数上位10都府県(男)

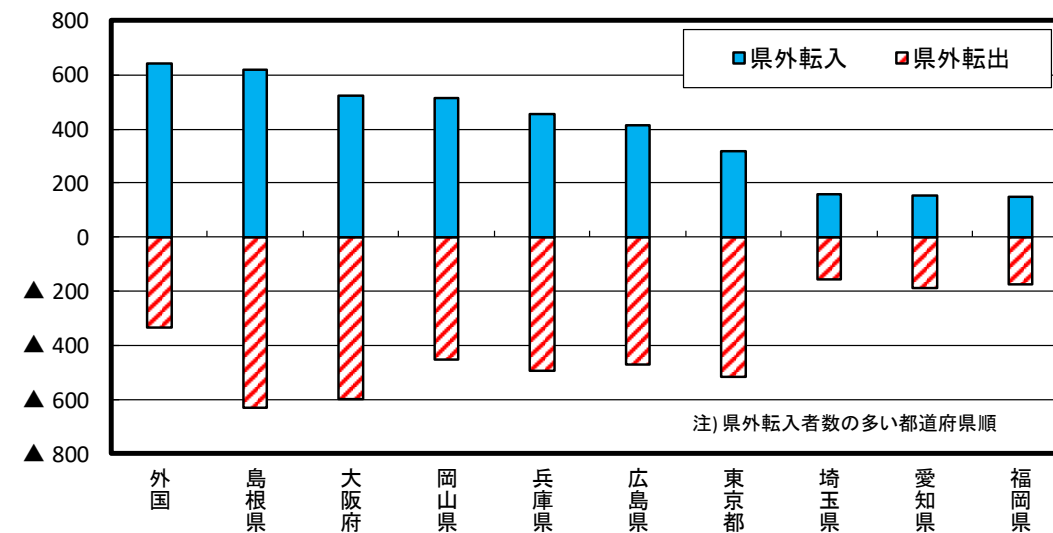
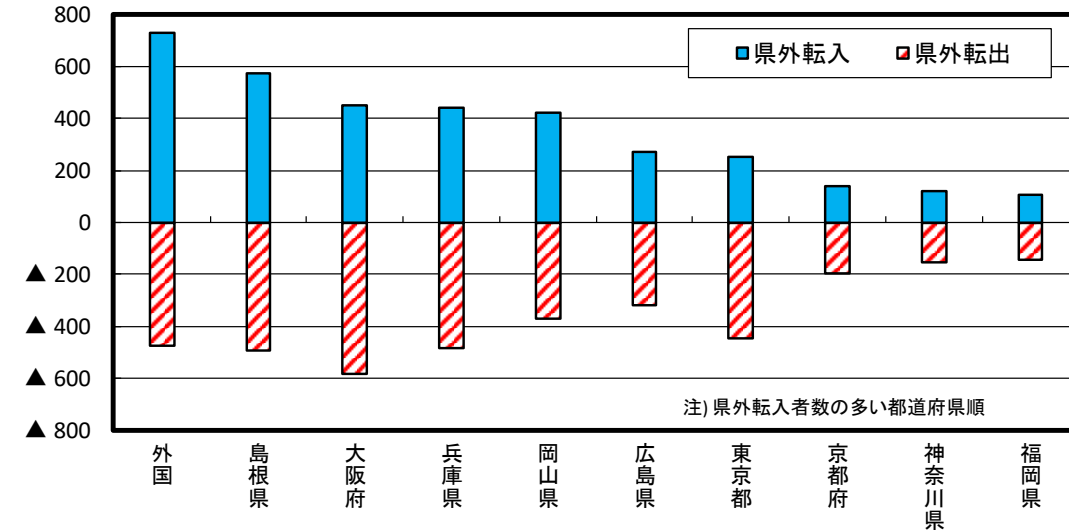


図6-3 従前の住所地及び転出地の都道府県(外国を含む)県別転入・転出者数上位10都府県(女)



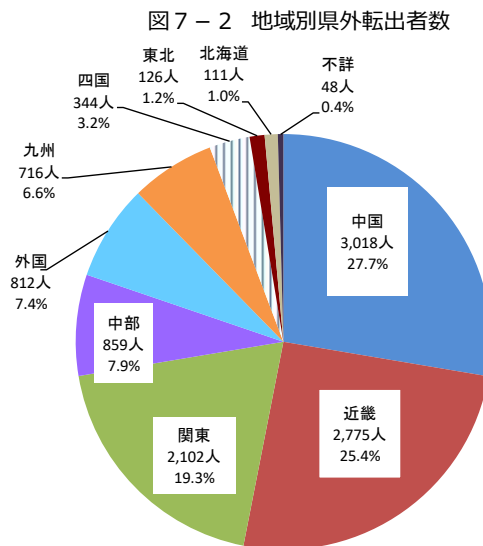
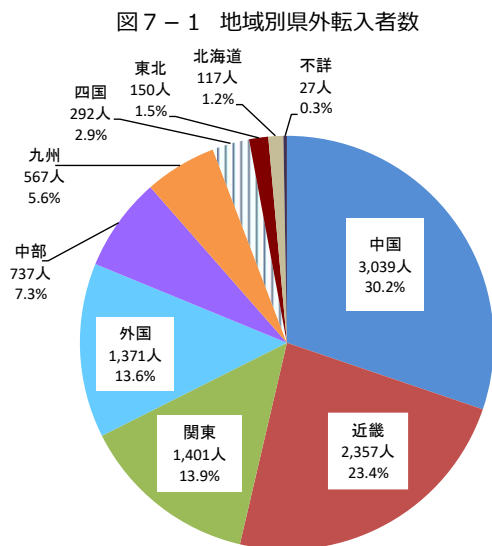
(4) ブロック別の県外転入・転出

ブロック別の県外転入・転出者数とも中国ブロックが最多で、次いで近畿ブロック

ブロック別にみると、県外転入者は中国ブロックの3,039人（男性1,683人、女性1,356人）が最も多く、次いで近畿ブロックの2,357人（男性1,232人、女性1,125人）、関東ブロック1,401人（男性791人、女性610人）であった。

県外転出者は中国ブロックの3,018人（男性1,730人、女性1,288人）が最も多く、次いで近畿ブロックの2,775人（男性1,394人、女性1,381人）、関東ブロックの2,102人（男性1,134人、女性968人）であった。

(図7-1、図7-2)



注) 全国地域区分別の構成都道府県は、以下のとおり。

- 北海道: 北海道
- 東北: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 中部: 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国: 島根、岡山、広島、山口
- 四国: 徳島、香川、愛媛、高知
- 九州: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数

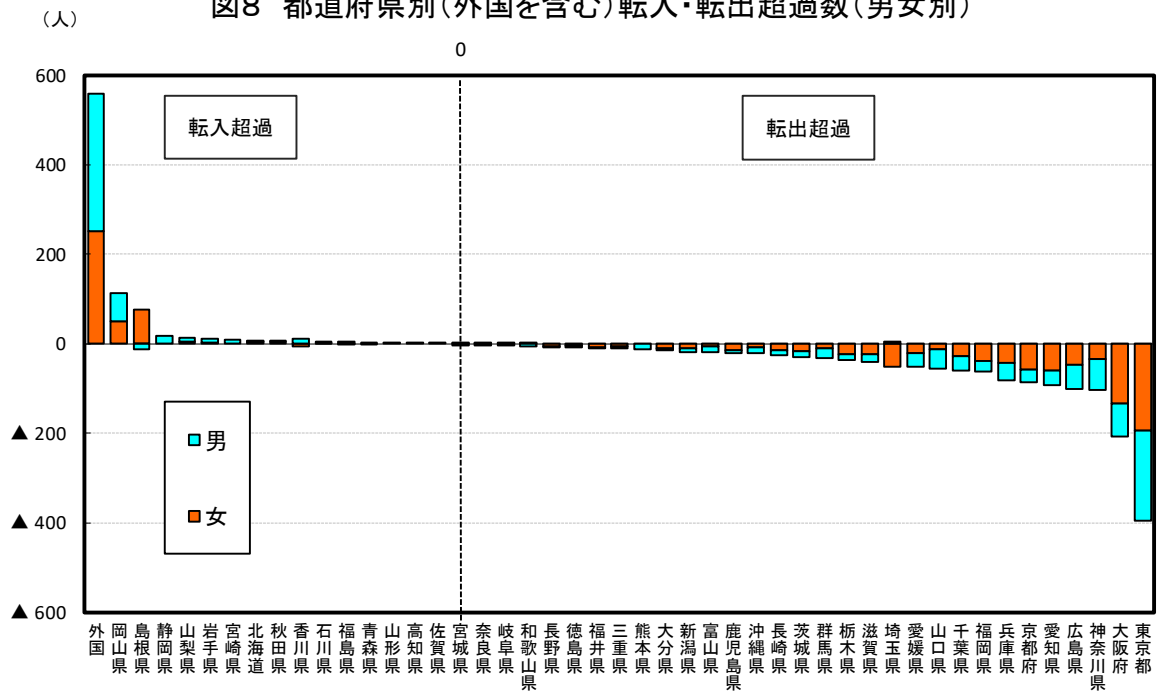
転入超過数は外国の559人、転出超過数は東京都の395人が最も多い

転入超過数は、外国の559人（男性307人、女性252人）が最も多く、次いで岡山県の114人（男性64人、女性50人）、島根県の64人（男性13人、女性77人）であった。

転出超過数は、東京都の395人（男性200人、女性195人）が最も多く、次いで大阪府の207人（男性74人、女性133人）、神奈川県104人（男性71人、女性33人）であった。

(図8、統計表第9表)

図8 都道府県別(外国を含む)転入・転出超過数(男女別)



(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態

60～64歳が最も増加し、20～24歳が最も減少

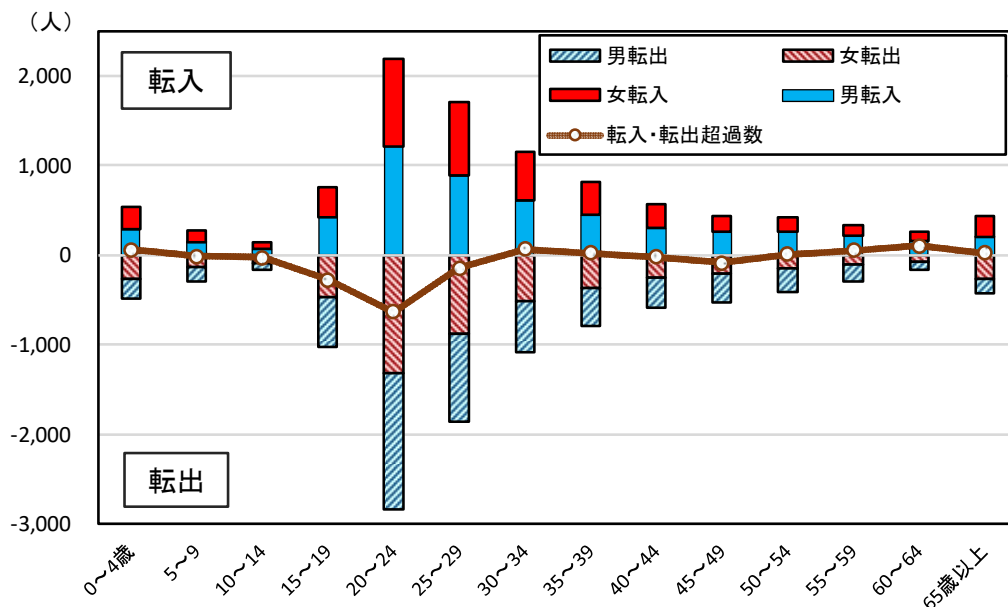
年齢5歳階級別にみると、県外転入者は男女とも20～24歳が最も多く（男性1,215人：男性の県外転入者総数に占める割合が22.0%、女性982人：女性の県外転入者総数に占める割合が21.6%）、次いで男女とも25～29歳（男性889人：同16.1%、女性822人：同18.1%）であった。

県外転出者は男女とも20～24歳が最も多く（男性1,510人：同25.8%、女性1,323人：同26.2%）、次いで男女とも25～29歳（男性970人：同16.6%、女性883人：同17.5%）であった。

県外転入転出により、60～64歳が最も増加（108人：男性75人、女性33人）し、20～24歳が最も減少（636人：男性295人、女性341人）し、年間県外移動者総数をみると、20～34歳が全体の51.7%を占めている。

（図9、統計表第4表、統計表第10表）

図9 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数



II 市町村別人口動態

1 人口増減

人口増減は日吉津村を除くすべての市町で減少

令和4年（令和4年1月～令和4年12月）の1年間の市町村別の人口増減をみると、増加したのは日吉津村の25人（自然減少15人、社会増加40人）で、他の18市町は減少し、最も減少したのは鳥取市の1,260人（自然減少1,112人、社会減少148人）、次いで米子市の729人（自然減少720人、社会減少9人）、倉吉市の608人（自然減少446人、社会減少162人）、八頭町の303人（自然減少187人、社会減少116人）であった。

また、増減率を見ると、増加したのは日吉津村の0.71%で、他の18市町は減少し、最も減少したのは若桜町の3.80%、次いで江府町の2.64%、日南町の2.60%、智頭町の2.44%であった。

（表1、統計表第6表、統計表第7表）

表1 市町村別人口増減

（単位：人、%）

	自然増減			社会増減			人口増減数	人口増減率
	出生数	死亡数	増減数	転入者数	転出者数	増減数		
県計	3,729	8,064	-4,335	15,597	16,450	-853	-5,188	-0.95
鳥取市	1,269	2,381	-1,112	4,593	4,741	-148	-1,260	-0.67
米子市	1,182	1,902	-720	4,881	4,890	-9	-729	-0.50
倉吉市	301	747	-446	1,300	1,462	-162	-608	-1.33
境港市	197	468	-271	1,222	1,246	-24	-295	-0.91
岩美町	65	206	-141	317	323	-6	-147	-1.38
若桜町	10	67	-57	39	86	-47	-104	-3.80
智頭町	14	126	-112	200	240	-40	-152	-2.44
八頭町	94	281	-187	319	435	-116	-303	-1.94
三朝町	25	130	-105	110	139	-29	-134	-2.28
湯梨浜町	144	312	-168	533	499	34	-134	-0.84
琴浦町	94	281	-187	401	495	-94	-281	-1.76
北栄町	88	215	-127	352	414	-62	-189	-1.34
日吉津村	30	45	-15	186	146	40	25	0.71
大山町	69	317	-248	410	464	-54	-302	-2.01
南部町	48	152	-104	278	321	-43	-147	-1.44
伯耆町	59	188	-129	225	301	-76	-205	-1.95
日南町	16	108	-92	74	87	-13	-105	-2.60
日野町	11	72	-61	108	97	11	-50	-1.78
江府町	13	66	-53	49	64	-15	-68	-2.64

2 自然動態

(1) 市町村別自然動態

自然増減はすべての市町村で減少

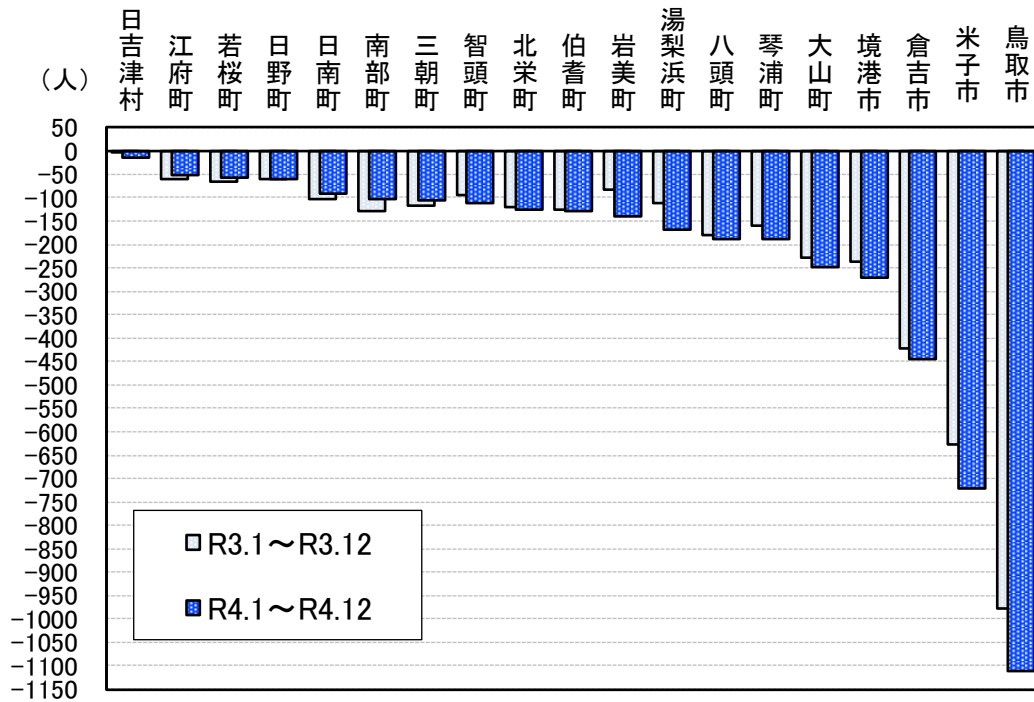
自然増減を市町村別にみると、すべての市町村で減少した。

最も多く減少したのは鳥取市の1,112人（出生数1,269人、死亡数2,381人）、次いで米子市の720人（出生数1,182人、死亡数1,902人）であった。

自然増減率（対1,000人比）をみると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは日南町の22.79%、次いで日野町の21.68%、若桜町の20.83%であった。

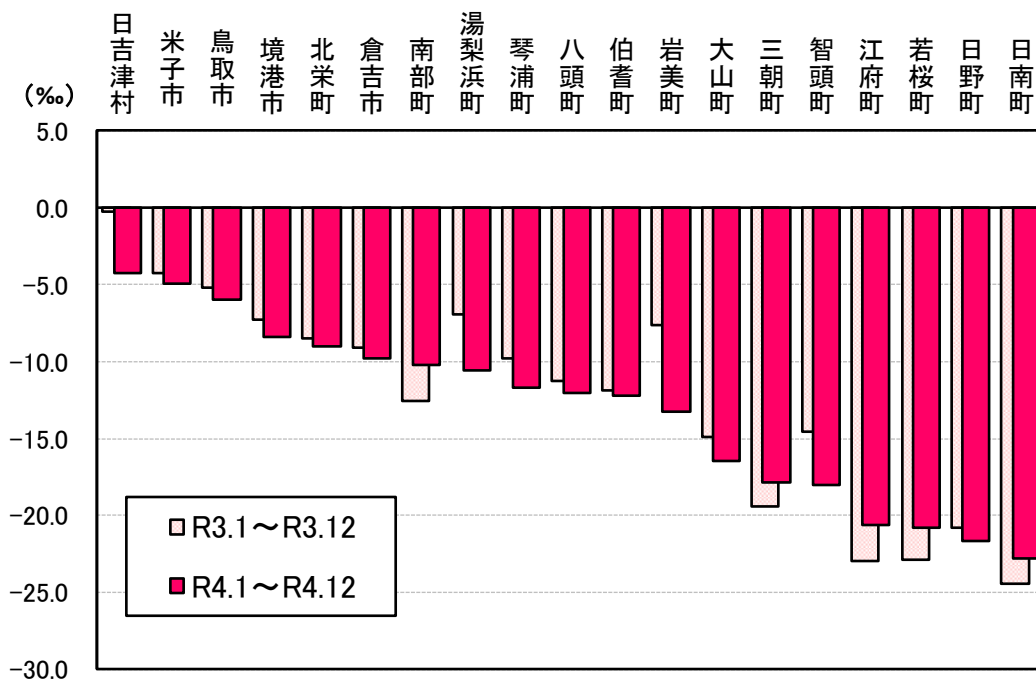
（図10-1、図10-2、統計表第6表）

図10-1 市町村別自然増減数



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

図10-2 市町村別自然増減率



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

(2) 月別自然動態

出生数は9月の鳥取市の131人、死亡数は1月の鳥取市の239人が最も多い。

月別にみると、出生数は9月の鳥取市の131人（総出生数に占める割合3.5%）が最も多く、次いで4月の鳥取市の122人（同3.3%）、8月の鳥取市の121人（同3.2%）であった。

死亡数は1月の鳥取市の239人（総死亡数に占める割合3.0%）が最も多く、次いで12月の鳥取市の230人（同2.9%）、10月の鳥取市の210人（同2.6%）であった。

(表2)

(3) 男女別自然動態

男女の出生数・死亡数とも鳥取市が最も多かった。

市町村別の男女別をみると、男性の出生数は鳥取市の657人が最も多く、次いで米子市の622人、倉吉市の150人、境港市の107人であった。死亡数は鳥取市の1,154人が最も多く、次いで米子市の920人、倉吉市の348人、境港市の239人であった。

女性の出生数は鳥取市の612人が最も多く、次いで米子市の560人、倉吉市の151人、境港市の90人であった。死亡数は鳥取市の1,227人が最も多く、次いで米子市の982人、倉吉市の399人、境港市の229人であった。

また、最も少なかった出生数は、男性では若桜町及び日野町の5人、女性では若桜町の5人、死亡数は、男性では日吉津村の23人、女性では日吉津村の22人であった。

(表2、統計表第6表)

表2 月別男女別自然動態 —R4年1月～R4年12月—

(単位:人)

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
県計	出生数	男	1,929	141	146	159	150	161	183	166	182	185	157	155	144
		女	1,800	130	137	136	151	163	155	126	164	158	182	158	140
		総数	3,729	271	283	295	301	324	338	292	346	343	339	313	284
	死亡数	男	3,882	354	328	359	301	314	276	289	338	295	344	332	352
		女	4,182	412	376	388	321	332	284	290	307	326	355	356	435
		総数	8,064	766	704	747	622	646	560	579	645	621	699	688	787
鳥取市	出生数	男	657	41	46	53	55	54	60	52	64	77	60	50	45
		女	612	36	49	48	67	60	46	37	57	54	52	56	50
		総数	1,269	77	95	101	122	114	106	89	121	131	112	106	95
	死亡数	男	1,154	111	103	104	86	90	82	84	87	98	110	95	104
		女	1,227	128	98	95	93	95	93	99	107	84	100	109	126
		総数	2,381	239	201	199	179	185	175	183	194	182	210	204	230
米子市	出生数	男	622	46	43	52	43	45	63	54	63	59	58	50	46
		女	560	54	45	35	37	44	54	36	51	49	55	53	47
		総数	1,182	100	88	87	80	89	117	90	114	108	113	103	93
	死亡数	男	920	88	78	71	74	84	72	62	83	72	78	84	74
		女	982	99	94	103	76	84	63	61	59	90	75	82	96
		総数	1,902	187	172	174	150	168	135	123	142	162	153	166	170
倉吉市	出生数	男	150	13	14	7	10	18	19	11	10	15	8	9	16
		女	151	13	9	12	10	10	14	10	23	11	11	13	15
		総数	301	26	23	19	20	28	33	21	33	26	19	22	31
	死亡数	男	348	34	22	31	26	26	30	36	32	20	29	34	28
		女	399	42	34	36	29	25	27	24	32	34	34	40	42
		総数	747	76	56	67	55	51	57	60	64	54	63	74	70
境港市	出生数	男	107	5	12	10	10	10	8	10	13	6	5	11	7
		女	90	1	3	8	9	9	8	10	5	14	12	8	3
		総数	197	6	15	18	19	19	16	20	18	20	17	19	10
	死亡数	男	239	25	24	25	12	18	11	11	28	19	18	20	28
		女	229	25	21	21	13	28	12	18	17	13	20	24	17
		総数	468	50	45	46	25	46	23	29	45	32	38	44	45

3 社会動態

(1) 市町村別社会動態

社会増減は湯梨浜町、日吉津村及び日野町で増加し、その他の市町で減少

社会増減を市町村別にみると、湯梨浜町、日吉津村及び日野町で増加し、その他の市町で減少した。

増加したのは日吉津村の40人（男性27人、女性13人）が最も増加し、次いで湯梨浜町の34人（男性23人、女性11人）であった。減少したのは倉吉市の162人（男性75人、女性87人）が最も減少し、次いで鳥取市の148人（男性15人、女性133人）であった。

社会増減率（対1,000人比）をみると、最も増加したのは日吉津村の11.33%、次いで日野町の3.91%で、最も減少したのは若桜町の17.17%、次いで八頭町の7.45%であった。

（図11-1、図11-2、表3、統計表第7表、統計表第10表）

図11-1 市町村別社会増減数

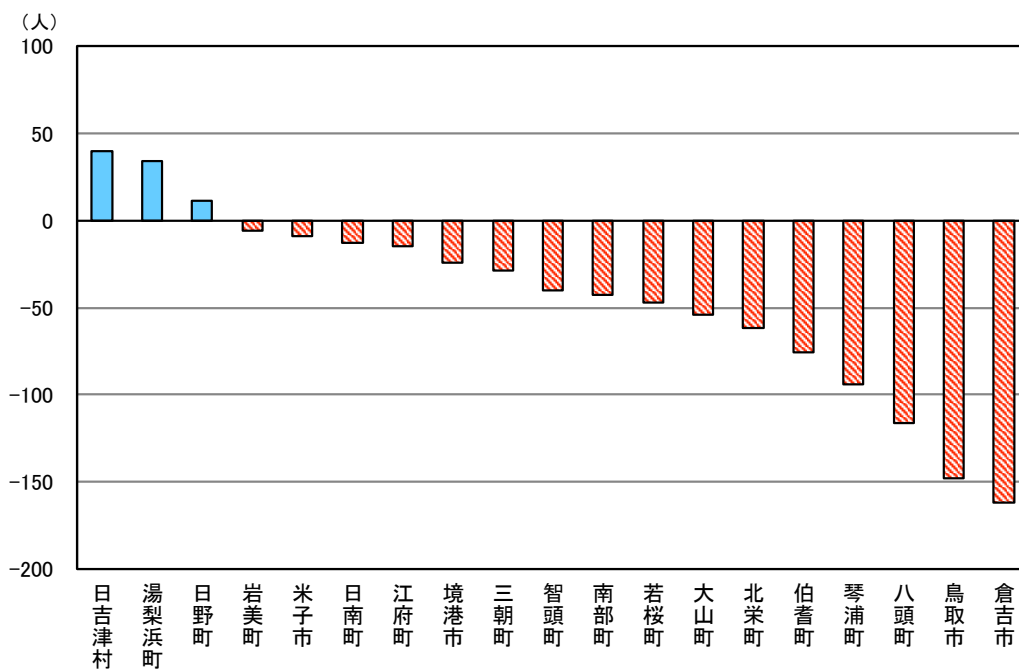


図11-2 市町村別社会増減率

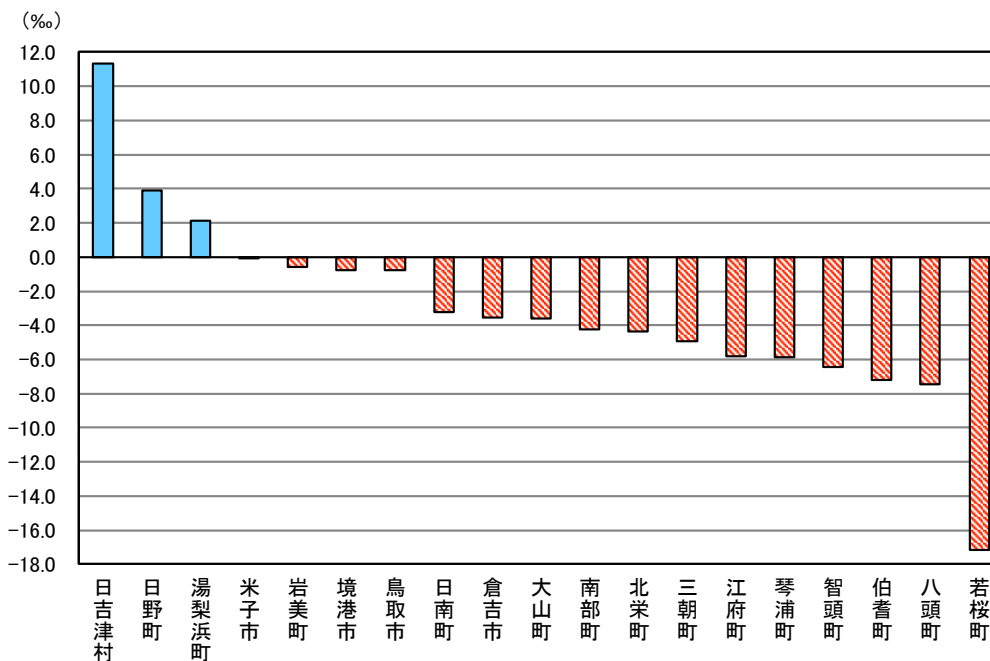


表3 市町村別社会動態

(単位：人)

	県外			県内			社会増減数
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	
県計	10,058	10,911	-853	5,539	5,539	0	-853
東部地区	3,829	4,161	-332	1,639	1,664	-25	-357
中部地区	1,311	1,539	-228	1,385	1,470	-85	-313
西部地区	4,918	5,211	-293	2,515	2,405	110	-183
鳥取市	3,377	3,623	-246	1,216	1,118	98	-148
米子市	3,394	3,629	-235	1,487	1,261	226	-9
倉吉市	676	744	-68	624	718	-94	-162
境港市	872	904	-32	350	342	8	-24
岩美町	160	179	-19	157	144	13	-6
若桜町	25	35	-10	14	51	-37	-47
智頭町	138	133	5	62	107	-45	-40
八頭町	129	191	-62	190	244	-54	-116
三朝町	73	73	0	37	66	-29	-29
湯梨浜町	174	228	-54	359	271	88	34
琴浦町	261	276	-15	140	219	-79	-94
北栄町	127	218	-91	225	196	29	-62
日吉津村	66	66	0	120	80	40	40
大山町	230	234	-4	180	230	-50	-54
南部町	136	131	5	142	190	-48	-43
伯耆町	97	135	-38	128	166	-38	-76
日南町	39	42	-3	35	45	-10	-13
日野町	55	48	7	53	49	4	11
江府町	29	22	7	20	42	-22	-15

注1) 転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス(－)の場合は、転出超過を示す。

注2) 地区別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地区内市町村間の移動者を含む。

(2) 県内移動

県内移動で最も多いのは、鳥取市から米子市への416人

県内移動をみると、鳥取市から米子市への416人(男性232人、女性184人)が最も多く、次いで米子市から鳥取市への354人(男性198人、女性156人)であった。

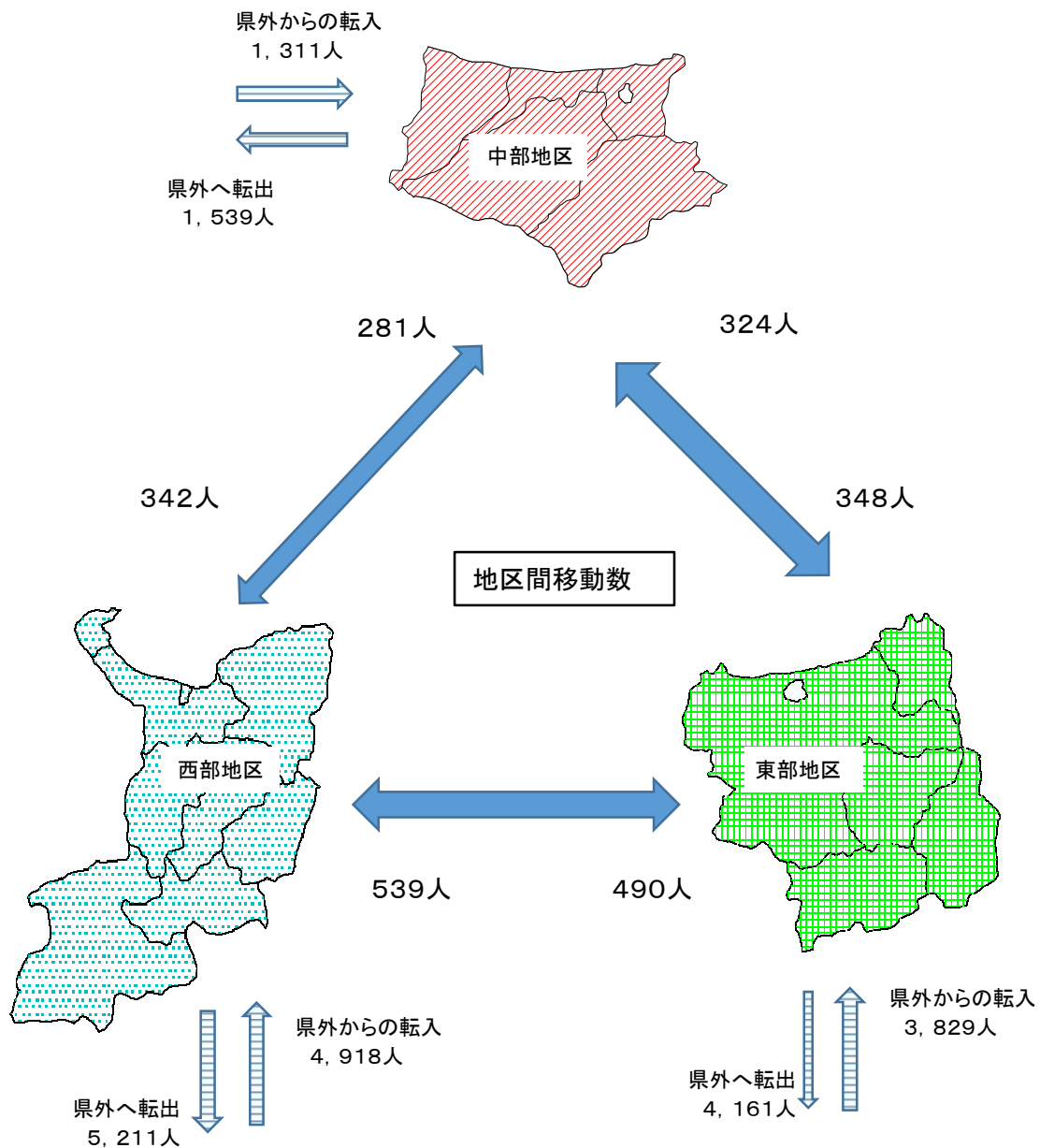
県内移動での転入超過は、米子市の226人(男性101人、女性125人)が最も多く、次いで鳥取市の98人(男性31人、女性67人)であった。

転出超過は、倉吉市の94人(男性34人、女性60人)が最も多く、次いで琴浦町の79人(男性27人、女性52人)であった。

また、県内移動を地域区別にみると、東部から西部への539人(男性306人、女性233人)が最も多く、次いで西部から東部への490人(男性277人、女性213人)、中部から東部への348人(男性179人、女性169人)であった。

(図12、統計表第8表)

図12 地区別社会動態(R4年1月～R4年12月)



県外との社会動態(県全体)

県外へ転出 10,911人

県外からの転入 10,058人

注) 地区間移動数は、地区内市町村間の移動者を含まない。

(3) 県外転入・県外転出

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への649人
 県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への579人

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への649人(男性321人、女性328人)、次いで外国から鳥取市への508人(男性252人、女性256人)であった。

また、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への579人(男性317人、女性262人)、次いで鳥取市から大阪府への432人(男性215人、女性217人)であった。

県外転入・県外転出での転入超過は、日野町及び江府町の7人(日野町:男性2人、女性5人、江府町:男性3人、女性4人)が最も多く、次いで智頭町及び南部町の5

人（智頭町：男性 10 人、女性-5 人 南部町：男性 6 人、女性-1 人）であった。

転出超過は、鳥取市の 246 人（男性 46 人、女性 200 人）が最も多く、次いで米子市の 235 人（男性 121 人、女性 114 人）であった。

また、県外転入・県外転出を地域区分別にみると、県外転入者については東部では外国から 638 人（男性 319 人、女性 319 人）が最も多く、次いで兵庫県から 498 人（男性 265 人、女性 233 人）、中部で外国から 265 人（男性 90 人、女性 175 人）が最も多く、次いで岡山県から 162 人（男性 105 人、女性 57 人）、西部では島根県から 885 人（男性 429 人、女性 456 人）が最も多く、次いで外国から 468 人（男性 233 人、女性 235 人）であった。

県外転出者については東部では大阪府へ 504 人（男性 254 人、女性 250 人）が最も多く、次いで兵庫県へ 494 人（男性 248 人、女性 246 人）、中部では大阪府へ 197 人（男性 99 人、女性 98 人）が最も多く、次いで外国へ 151 人（男性 69 人、女性 82 人）、西部では島根県へ 790 人（男性 435 人、女性 355 人）が最も多く、次いで大阪府へ 482 人（男性 246 人、女性 236 人）であった。（表 4、統計表第 9 表）

表 4 都道府県別県外転入・転出者数(上位市町村)

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	鳥取市	米子市	琴浦町	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
外国	1,371	508	262	142	459	812	306	136	68	302
島根県	1,191	649	225	148	169	1,127	579	231	122	195
大阪府	976	369	267	70	270	1,183	432	348	90	313
岡山県	935	340	301	122	172	821	297	250	75	199
兵庫県	893	435	223	69	166	975	429	241	58	247
広島県	683	270	225	60	128	785	311	278	57	139
東京都	568	221	174	47	126	963	368	298	71	226

(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出

県外転入者、県外転出者とも 20～24 歳が最も多い。

【鳥取市】

県外転入者は、20～24 歳の 702 人（男性 407 人、女性 295 人：県全体の県外転入者総数に占める割合 7.0%）が最も多く、次いで 25～29 歳の 548 人（男性 292 人、女性 256 人：同 5.4%）であった。

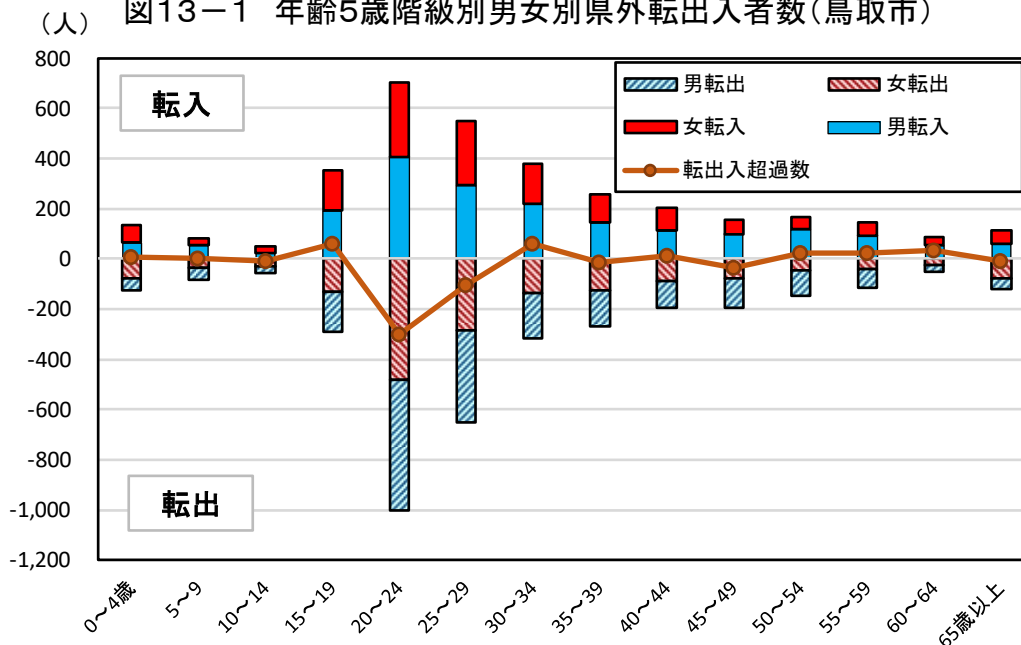
県外転出者は、20～24 歳の 1,002 人（男性 523 人、女性 479 人：県全体の県外転出者総数に占める割合 9.2%）が最も多く、次いで 25～29 歳の 653 人（男性 370 人、女性 283 人：同 6.0%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、15～19 歳の 62 人（男性 32 人、女性 30 人）が最も多く、次いで 30～34 歳の 61 人（男性 35 人、女性 26 人）であった。

転出超過数は、20～24 歳の 300 人（男性 116 人、女性 184 人）が最も多く、次いで 25～29 歳の 105 人（男性 78 人、女性 27 人）であった。

(図 13-1、統計表第 10 表)

図13-1 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(鳥取市)



【米子市】

県外転入者は、20~24歳の729人（男性405人、女性324人：同7.2%）が最も多く、次いで25~29歳の589人（男性304人、女性285人：同5.9%）であった。

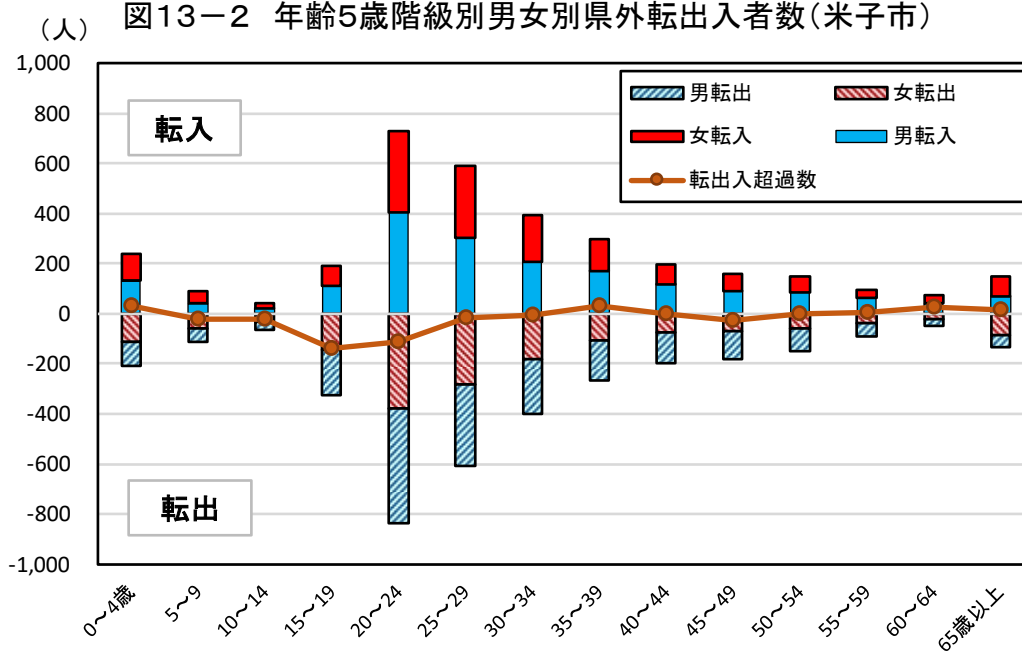
県外転出者は、20~24歳の839人（男性462人、女性377人：同7.7%）が最も多く、次いで25~29歳の607人（男性322人、女性285人：同5.6%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、35~39歳の33人（男性8人、女性25人）が最も多く、次いで0~4歳の32人（男性34人、女性-2人）であった。

転出超過数は、15~19歳の138人（男性68人、女性70人）が最も多く、次いで20~24歳の110人（男性57人、女性53人）であった。

(図13-2、統計表第10表)

図13-2 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(米子市)



【倉吉市】

県外転入者は、20～24歳の144人（男性85人、女性59人：同1.4%）が最も多く、次いで25～29歳の132人（男性65人、女性67人：同1.3%）であった。

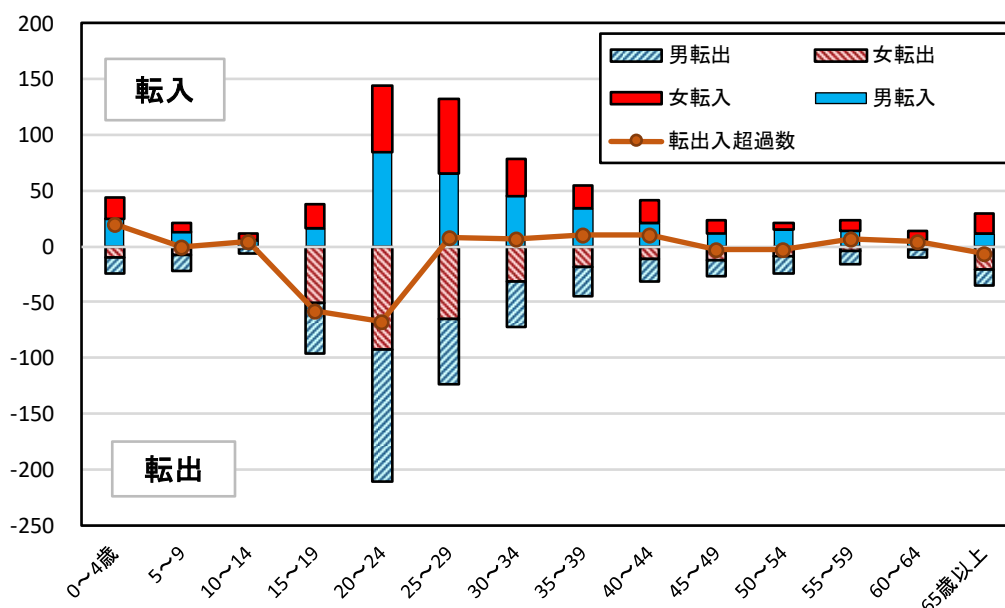
県外転出者は、20～24歳の211人（男性119人、女性92人：同1.9%）が最も多く、次いで25～29歳の124人（男性59人、女性65人：同1.1%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、0～4歳の20人（男性11人、女性9人）が最も多く、次いで35～39歳及び40～44歳の10人（35～39歳：男性7人、女性3人 40～44歳：男性1人、女性9人）であった。

転出超過数は、20～24歳の67人（男性34人、女性33人）が最も多く、次いで15～19歳の58人（男性29人、女性29人）であった。

（図13-3、統計表第10表）

（人） 図13-3 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数（倉吉市）



【境港市】

県外転入者は、20～24歳の211人（男性99人、女112人：同2.1%）が最も多く、次いで25～29歳の151人（男性88人、女性63人：同1.5%）であった。

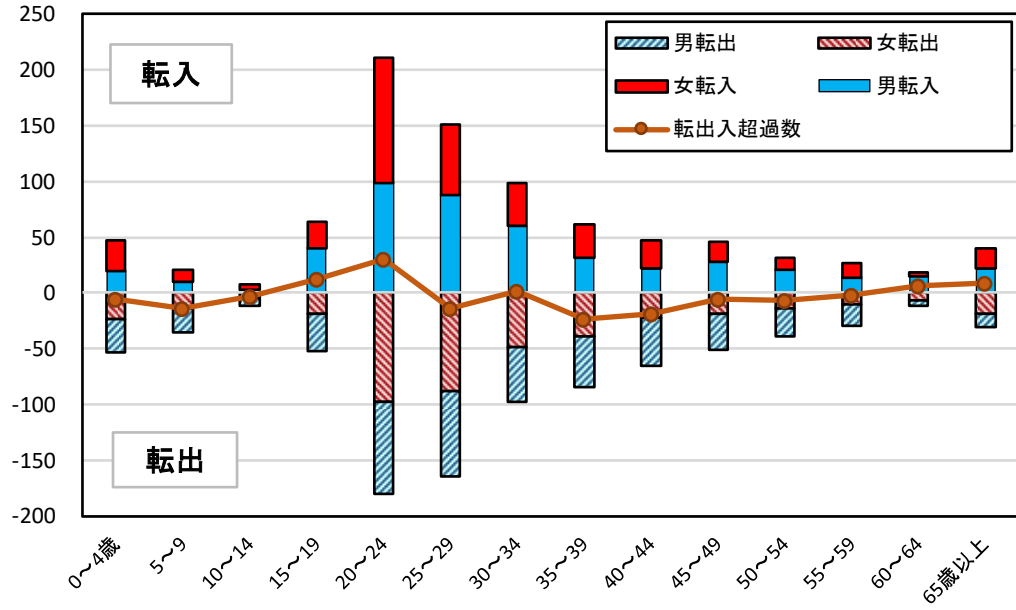
県外転出者は、20～24歳の180人（男性83人、女性97人：同1.6%）が最も多く、次いで25～29歳の165人（男性77人、女性88人：同1.5%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数では、20～24歳の31人（男性16人、女性15人）が最も多く、次いで15～19歳の12人（男性6人、女性6人）であった。

転出超過数は、35～39歳の23人（男性13人、女性10人）が最も多く、次いで40～44歳の18人（男性21人、女性-3人）であった。

（図13-4、統計表第10表）

(人) 圖13-4 年齡5歲階級別男女別省外轉出入者數(境港市)



<参考> 外国人の人口動態

1 自然動態

- ・出生数は4人（男性2人、女性2人）
- ・死亡数は16人（男性10人、女性6人）（表5）

表5 自然動態(外国人)

(単位:人)

月次	出生			死亡		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	4	2	2	16	10	6
1月	0	0	0	1	0	1
2月	0	0	0	2	1	1
3月	1	1	0	2	2	0
4月	0	0	0	1	0	1
5月	0	0	0	1	1	0
6月	0	0	0	1	1	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	1	1	0	2	1	1
9月	0	0	0	3	2	1
10月	0	0	0	1	0	1
11月	1	0	1	1	1	0
12月	1	0	1	1	1	0

2 社会動態

(1) 県内移動

- ・県内移動者数は107人（男性34人、女性73人）
- ・転入が最も多いのは米子市及び倉吉市の20人
（米子市：男性9人、女性11人 倉吉市：男性6人、女性14人）
- ・転入超過数は、倉吉市及び岩美町の11人（倉吉市：男性3人、女性8人 岩美町：男性3人、女性8人）が最も多く、転出超過数は、琴浦町の23人（女性23人）が最も多い。

(2) 県外転入・県外転出

- ・県外転入者数は1,806人（男性822人、女性984人）で、県外転出者数は1,250人（男性537人、女性713人）
- ・県外転入者数で最も多いのは、鳥取市の594人（男性310人、女性284人）で、次いで米子市の406人（男性183人、女性223人）
- ・県外転出者数で最も多いのは、鳥取市の393人（男性214人、女性179人）で、次いで米子市の242人（男性83人、女性159人）
- ・転入超過数は、鳥取市の201人（男性96人、女性105人）が最も多く、転出超過数は、北栄町の9人（男性5人、女性4人）が最も多い。（表6）

表6 市町村別社会動態(外国人)

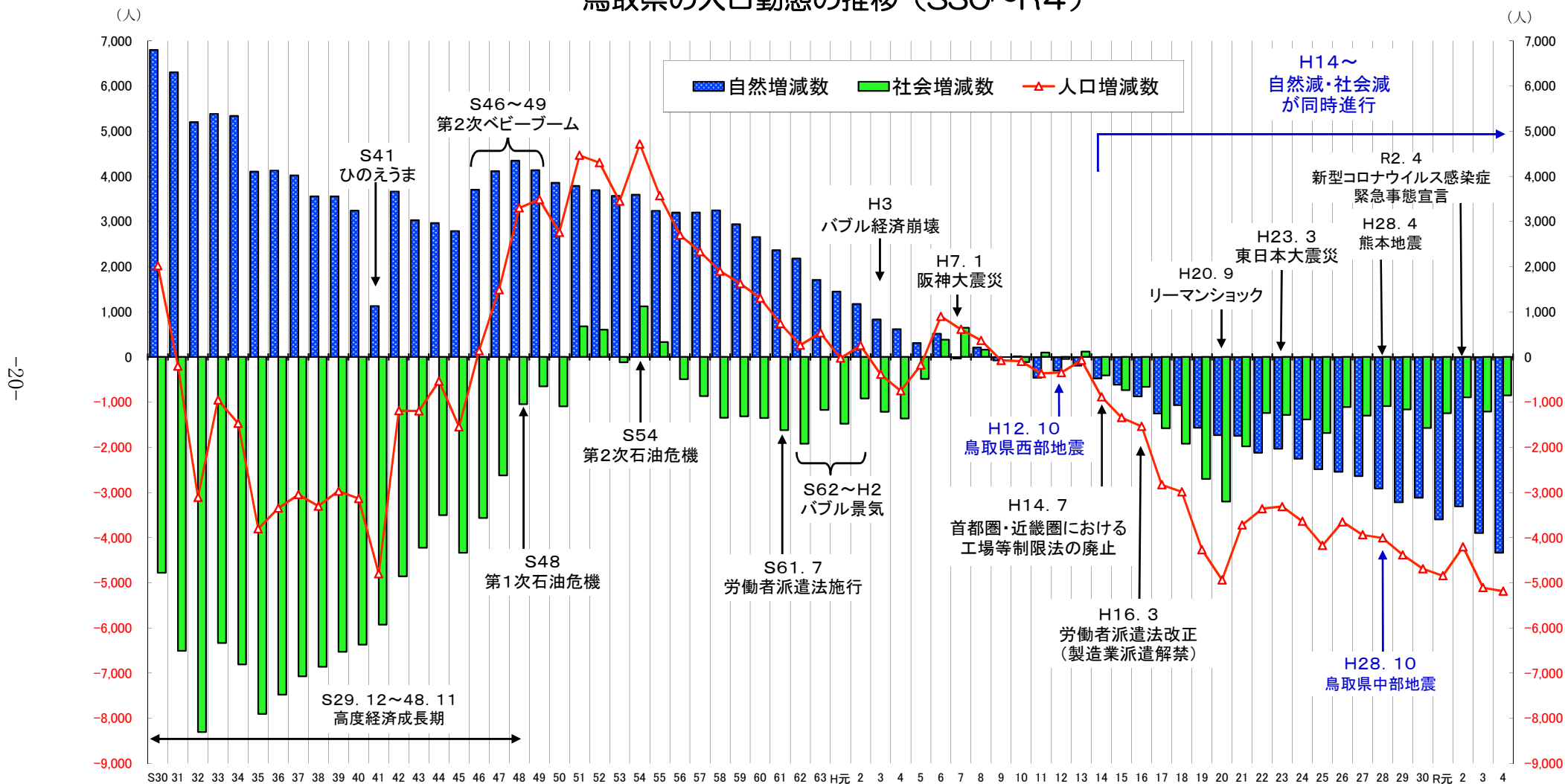
(単位:人)

	県外							県内							社会増減数
	転入者数			転出者数			転入超過数	転入者数			転出者数			転入超過数	
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女		
県計	1,806	822	984	1,250	537	713	556	107	34	73	107	34	73	0	556
東部地区	720	366	354	480	235	245	240	31	9	22	26	11	15	5	245
中部地区	305	119	186	254	110	144	51	37	8	29	39	5	34	-2	49
西部地区	781	337	444	516	192	324	265	39	17	22	42	18	24	-3	262
鳥取市	594	310	284	393	214	179	201	13	3	10	21	9	12	-8	193
米子市	406	183	223	242	83	159	164	20	9	11	15	5	10	5	169
倉吉市	86	43	43	62	41	21	24	20	6	14	9	3	6	11	35
境港市	206	70	136	138	45	93	68	10	6	4	11	6	5	-1	67
岩美町	48	24	24	43	14	29	5	11	3	8	0	0	0	11	16
若桜町	4	1	3	7	0	7	-3	2	0	2	0	0	0	2	-1
智頭町	56	24	32	24	4	20	32	5	3	2	0	0	0	5	37
八頭町	18	7	11	13	3	10	5	0	0	0	5	2	3	-5	0
三朝町	19	11	8	21	7	14	-2	0	0	0	1	1	0	-1	-3
湯梨浜町	23	9	14	29	6	23	-6	10	2	8	0	0	0	10	4
琴浦町	155	49	106	111	44	67	44	2	0	2	25	0	25	-23	21
北栄町	22	7	15	31	12	19	-9	5	0	5	4	1	3	1	-8
日吉津村	3	0	3	6	0	6	-3	6	2	4	0	0	0	6	3
大山町	94	47	47	71	38	33	23	1	0	1	9	7	2	-8	15
南部町	53	27	26	34	16	18	19	1	0	1	6	0	6	-5	14
伯耆町	5	3	2	6	0	6	-1	0	0	0	1	0	1	-1	-2
日南町	2	2	0	10	10	0	-8	0	0	0	0	0	0	0	-8
日野町	8	2	6	7	0	7	1	1	0	1	0	0	0	1	2
江府町	4	3	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2

注1) 転入超過とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス(-)の場合は、転出超過を示す。

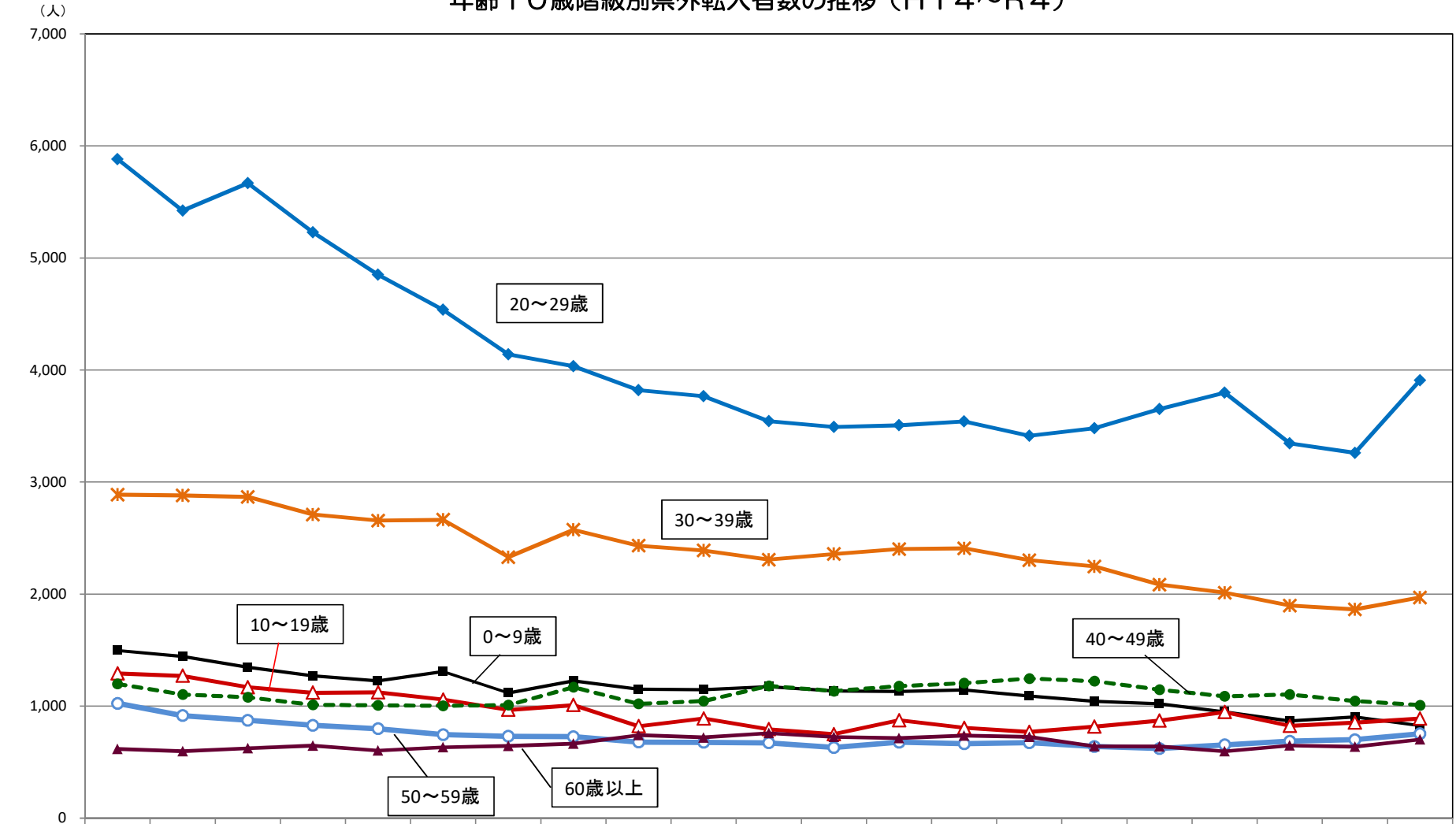
注2) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

鳥取県の人口動態の推移 (S30~R4)



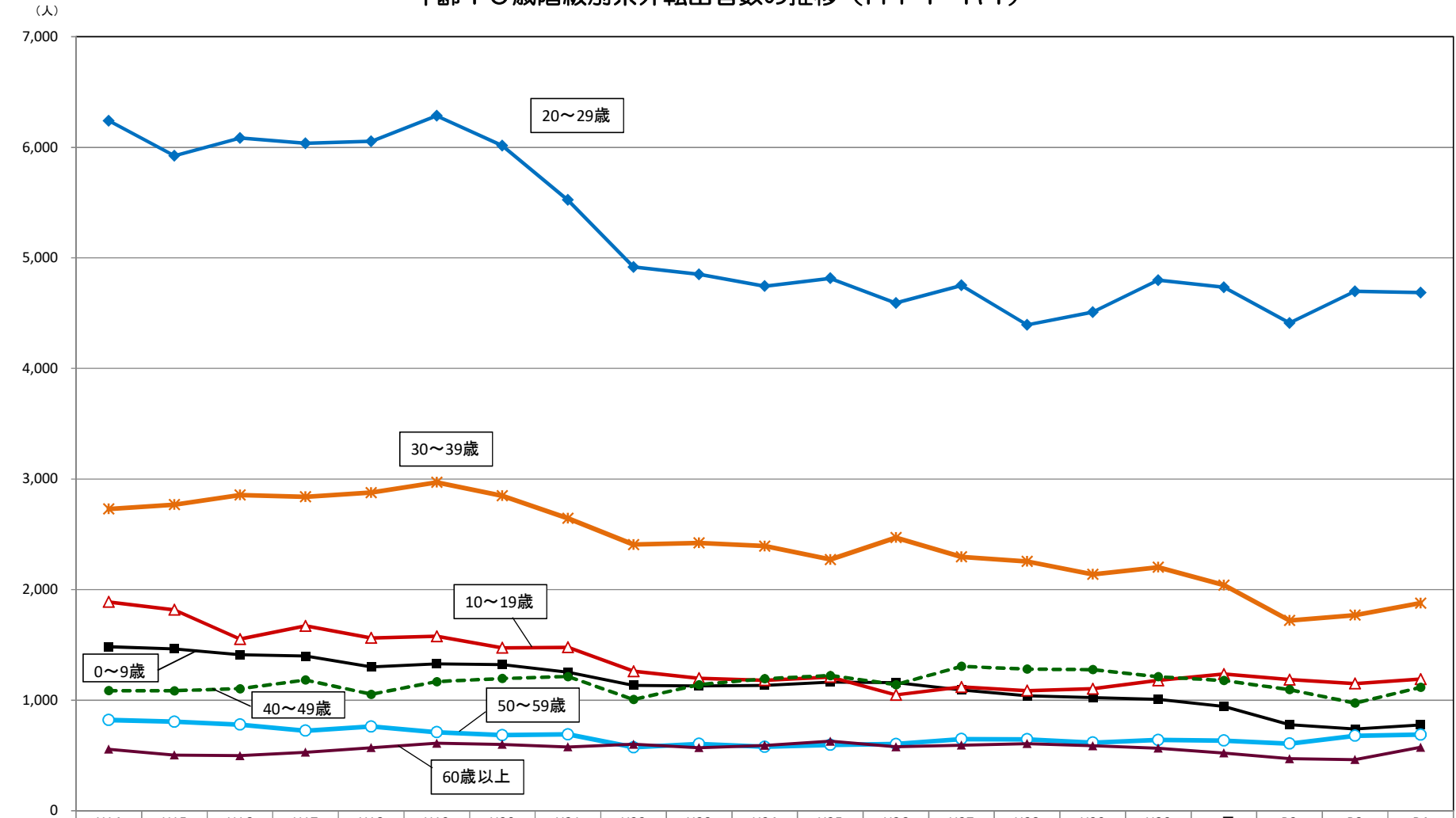
注) グラフは、暦年 (1月~12月) の値

年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H14～R4）



	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
0～9歳	1,497	1,444	1,346	1,271	1,225	1,308	1,118	1,226	1,150	1,146	1,174	1,136	1,131	1,144	1,091	1,042	1,020	949	868	903	826
10～19歳	1,291	1,271	1,169	1,120	1,123	1,058	967	1,010	821	890	794	750	874	806	770	818	871	947	824	854	890
20～29歳	5,882	5,423	5,667	5,228	4,851	4,537	4,139	4,034	3,820	3,767	3,544	3,491	3,507	3,541	3,413	3,480	3,652	3,797	3,346	3,260	3,908
30～39歳	2,888	2,881	2,867	2,710	2,656	2,664	2,329	2,574	2,432	2,389	2,307	2,358	2,402	2,409	2,302	2,247	2,085	2,012	1,897	1,863	1,970
40～49歳	1,198	1,104	1,079	1,012	1,006	1,003	1,009	1,169	1,021	1,046	1,181	1,134	1,179	1,206	1,246	1,224	1,146	1,087	1,103	1,046	1,008
50～59歳	1,025	915	873	828	798	745	731	727	679	677	672	630	678	665	674	640	622	654	687	700	753
60歳以上	617	598	624	647	605	634	645	665	742	720	759	725	714	736	725	643	641	597	650	637	703

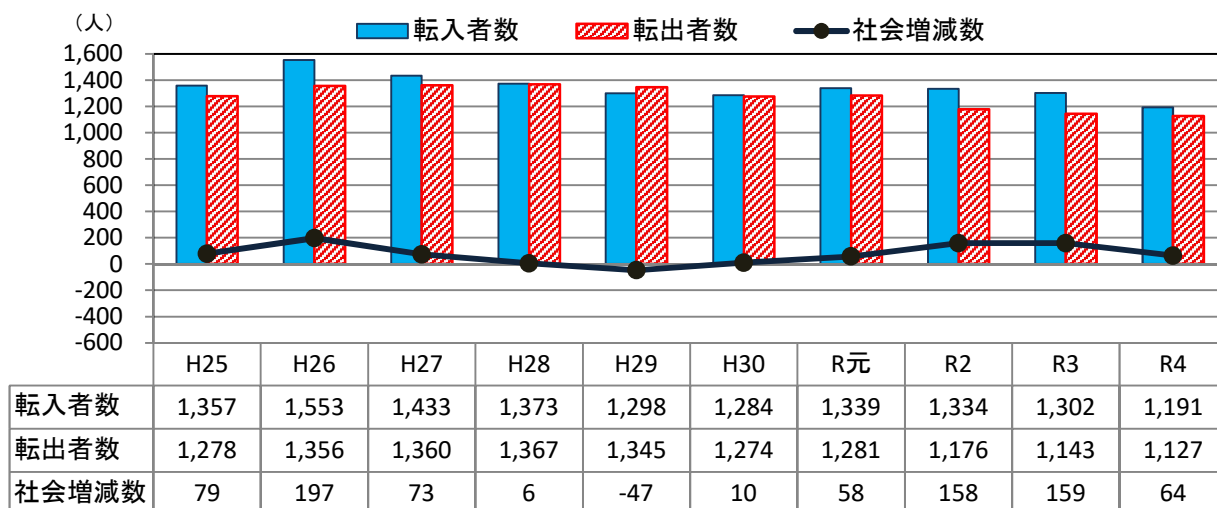
年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H14～R4）



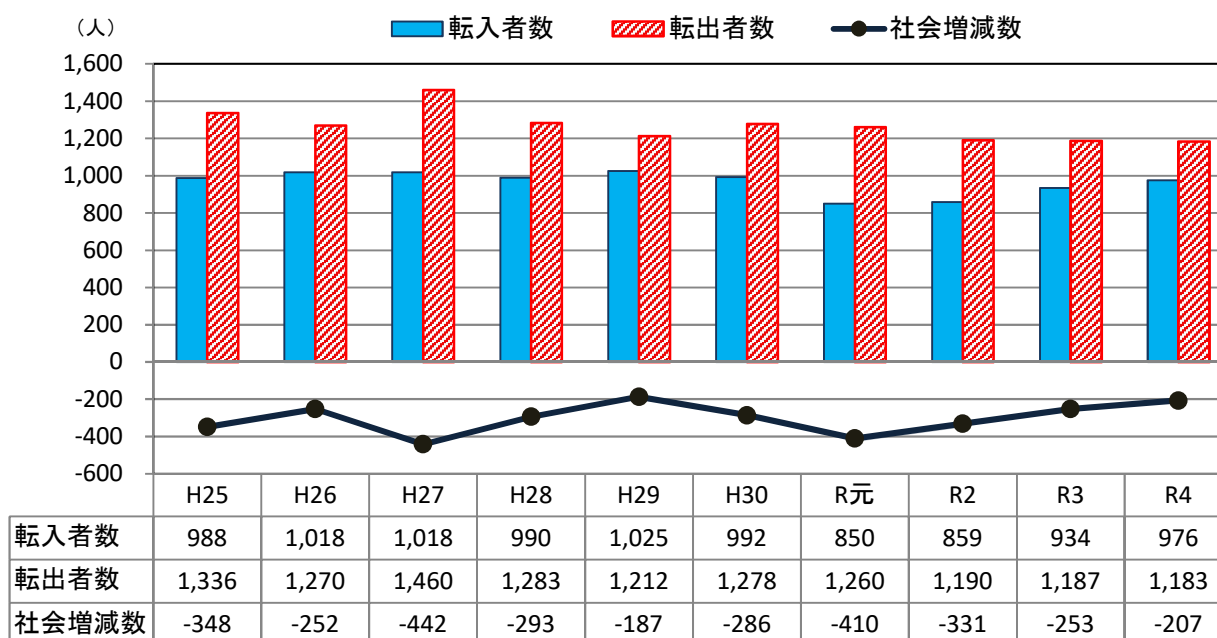
	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
0～9歳	1,483	1,464	1,412	1,399	1,302	1,330	1,321	1,253	1,134	1,129	1,134	1,165	1,160	1,092	1,041	1,025	1,008	944	779	739	777
10～19歳	1,888	1,818	1,553	1,672	1,563	1,578	1,474	1,478	1,262	1,199	1,180	1,210	1,048	1,120	1,087	1,104	1,179	1,237	1,186	1,150	1,191
20～29歳	6,240	5,923	6,083	6,036	6,054	6,284	6,015	5,523	4,917	4,851	4,744	4,815	4,592	4,751	4,394	4,509	4,798	4,734	4,410	4,697	4,686
30～39歳	2,730	2,769	2,856	2,840	2,878	2,970	2,849	2,645	2,408	2,423	2,394	2,272	2,471	2,296	2,255	2,139	2,203	2,041	1,721	1,769	1,878
40～49歳	1,087	1,085	1,104	1,183	1,053	1,168	1,196	1,214	1,007	1,140	1,194	1,223	1,140	1,306	1,281	1,277	1,213	1,178	1,095	974	1,116
50～59歳	821	806	779	725	762	710	684	691	574	605	579	596	604	649	646	616	641	635	607	679	689
60歳以上	557	504	499	530	571	611	601	578	602	571	591	629	579	593	608	588	567	522	471	463	574

県外転出入者数の推移（令和4年移動者総数上位6都道府県）

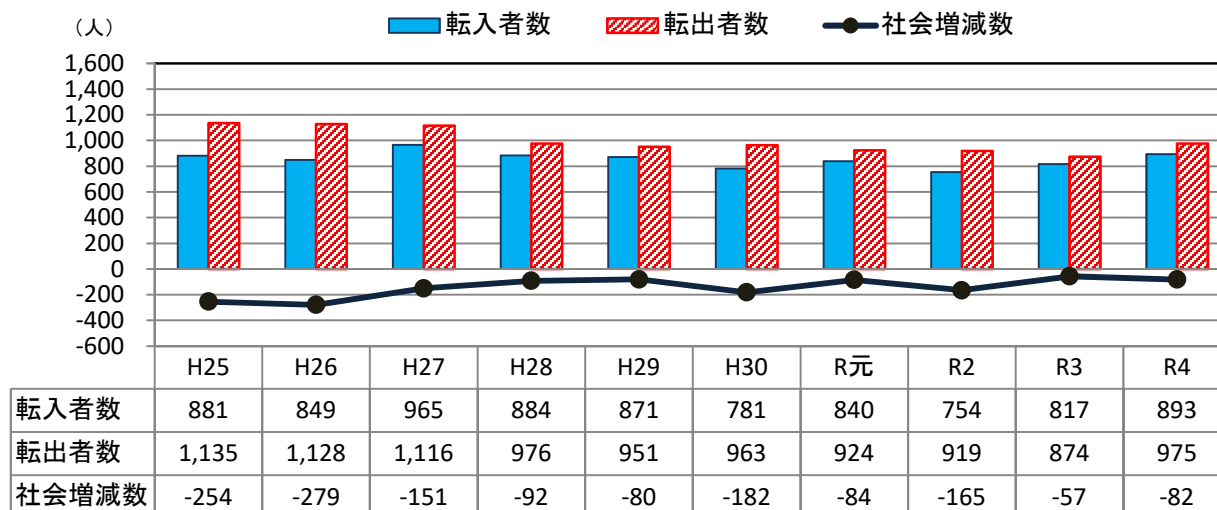
島根県からの転入、島根県への転出



大阪府からの転入、大阪府への転出

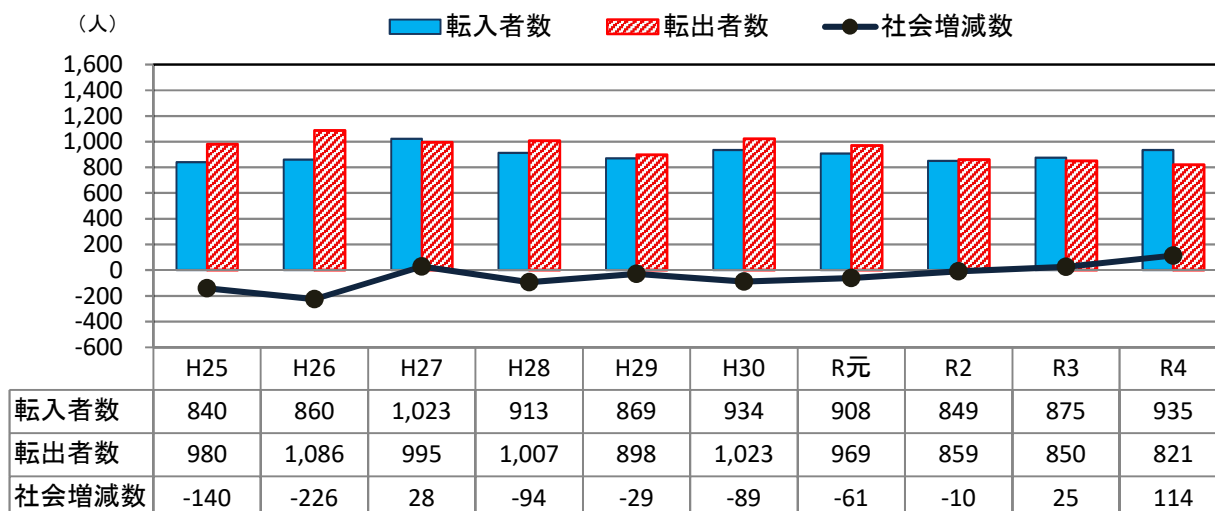


兵庫県からの転入、兵庫県への転出

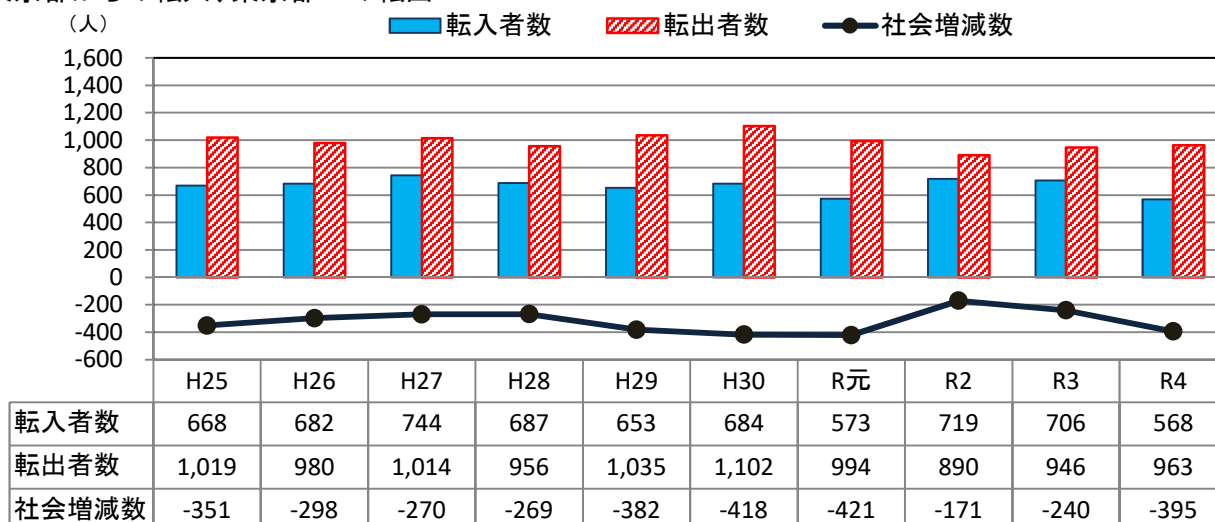


注) 移動者総数=転入者数+転出者数

岡山県からの転入、岡山県への転出



東京都からの転入、東京都への転出



広島県からの転入、広島県への転出

